

OBON 2015

個人の遺留品をご遺族の元へ



OBON2015 への寄付は、税控除の対象となります。

今月は嬉しいお知らせがあります。OBON2015 への寄付は、確定申告で税控除の対象となります。我々は、米国税法 501(c)3 項に認可された NPO 団体から加盟団体として認可されました。

次号ニュースレターなどで詳細はお知らせしますが、ご質問は、contact@OBON2015.com までご連絡下さい。

ご協力・ご支援有難う御座います。

(訳注：2016年9月現在、税控除の対象は、米国内国歳入庁(IRS)及び州政府への申告のみで、日本の確定申告では控除対象とはなりません)

目次

Page 2: E.B.スレッジ氏

Page 3: 小野二郎氏

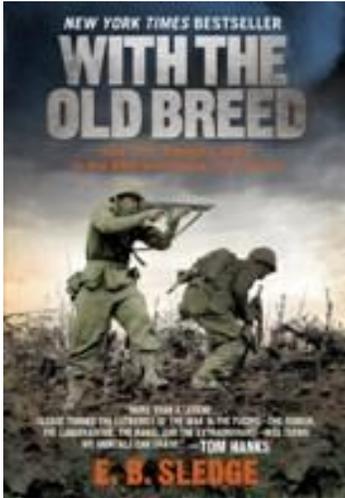
Page 4 ~ 5: メール

Page 6: 調査の一例

Page 7: 寄付のお願い・連絡先

志半ばに散った若い命

元米国海兵ユージン B. スレッジ氏の名著“**With the old breed**”（邦訳「ペリリュー・沖縄戦記」）には、太平洋地域における戦場の生々しい描写があり、若者達の将来を奪う戦争の凄惨さが記述されています。



“オズワルドが死んだという噂は本当か、と私は近くの男に尋ねた。残念だが本当だ…という返答だった。オズワルドは頭部に致命的な傷を負っていた。脳医学者として活躍し、医学に貢献することを夢見ていた聡明な若者は、皮肉にも、自身の脳に受けた銃創によって死亡してしまった。

なんというデタラメだ、と私は思った。国のかけがえのない宝である若者を殺してしまう戦争は、自己破滅的な集団狂気だ。

ちょうど水の中から引き上げた日本兵の死体にも思いを寄せた。戦争が無ければ、彼は何を望み、何を成し遂げたのだろうか。”

アーリントン墓地をはじめとする戦没者慰霊施設には、戦争で亡くなった兵士の墓標が無数にあります。彼らが生きていれば、世界にもたらされたであろう知性、発見・発明、芸術作品、医学の進歩は計り知れません。これは米国に限らず、世界全体にとっての損失です。真の才能とは国を問わず、世界を豊かにする神からの贈り物のはずです。



小野二郎氏



オバマ大統領は、2014年4月に日本を訪問した際、日本で最高の寿司屋に招待されました。このお店は小さく慎ましく見えますが、国際的に有名な天才寿司職人、小野二郎氏のお店です。



小野氏は、無事に生還できた元日本兵です。彼は砲弾を組み立てる仕事を2年行った後、陸軍の地下壕に調理施設を作るため、名古屋に派遣されました。彼は海外に派遣されず、生きて終戦を迎えることが出来ました。多くの若者が戦争で命を失いましたが、この「聡明な若者」は戦争を生き延び、その才能を開花させることができたことから、E. B. スレッジ氏は喜ぶに違いありません。



小野二郎氏（当時19歳）：6人の女性と寄せ書き日の丸と共に。

小野二郎氏の際立った才能、情熱、氏の生い立ちは、2011年、氏が85歳の時に映画化されました。

このドキュメンタリー映画「二郎は鮭の夢を見る」（原題：Jiro Dreams of Sushi。監督：デビッド・ゲルブ）は、世界中で好評を博しました。

頂いたメールの一部

遺留品を日本の遺族に返還したいと思っている方から、我々は毎日のようにメールを受け取ります。

あるメールは短く、要点のみ述べています。他のメールは、自分の父について、発見の経緯、日本の遺族に向けたメッセージなどが含まれています。

本ニュースレターでは、その一部を紹介させていただきます。

私は、父（元アメリカ軍歩兵、故人）が持ち帰った寄せ書き日の丸を持っています。父は、第二次世界大戦中、太平洋方面に派遣されていました。数年前、私はB市にある日本領事館の助けを借りて、この旗を返還しようと試みましたが、兵士の遺族を見つけることが出来ませんでした。

OBON2015 にお願ひしたら、返還できる可能性が高まるでしょうか？ OBON2015 は領事館よりも、知識や経験、人脈をお持ちのように思われます。（B.C.氏より）

私の父が2013年に亡くなった時、父の所有していた寄せ書き日の丸を引き継ぎました。この旗は絹で出来ています。

父の従軍記録によると、1945年9月から12月の間にフィリピン諸島で旗を取得していた可能性が高いと考えられます。

私は、本来の持ち主に日章旗を返還したいのですが、遺族を探し出すことは可能でしょうか？（A.L.氏）

私の叔父は約1年前に死亡し、私の母が遺品を受け継ぎました。第二次世界大戦当時の品物を納めた箱の中に、この日本の旗がありました。どのようにご遺族の元に旗を返せるのか、あるいは、OBON2015に返還を依頼出来るのか、教えてください。調査の役に立つかもしれない写真を何枚か同封します。もっと写真が必要な場合はお知らせ下さい。すぐにお送りいたします。

私はこの旗が本来の所有者の元へ返還できることを心から望んでいます。実現できたら、とても素晴らしい！（T.S.氏）

私は、アラバマ州モービル市に住むC.Wと申します。私は寄せ書き日の丸を所有しています。ご遺族にこの旗を返す方法を教えて下さい。ありがとうございます。（C.W氏）

頂いたメールの一部

私は第二次世界大戦から持ち帰った日本の旗について、OBON2015 から協力をいただきたくメールを書かせていただきました。私の意図は、この日本兵の名前を知り、遺族に日章旗を返還することです。

旗に書かれた家族の名前を調査するための方法を教えていただければ幸いです。遺族に旗を返還することは、私にとってとても重要なことです。 (L.E.氏)

私は父から受け取った日本の旗（添付写真参照）を持っています。父は、第二次世界大戦中フィリピン島侵攻作戦から持ち帰ったようです。父は亡くなりましたが、これらの旗のことを日本にいる遺族の元へお知らせしたいと思っています。もちろん、ご遺族の方が希望されればすぐに返還いたします。旗について調査した結果、上下逆さまに写真を撮ったことが分かりました。返還のために役立つ情報をお持ちならば、ぜひお送り下さい。 (R.V.氏)



私は、寄せ書き日の丸を持っています。これらは、第二次世界大戦中、おそらくパプアニューギニアあるいはミンダナオ島（フィリピン諸島）から持ち帰ったものです。それは私の父の戦利品でした。彼は米陸軍の第41師団第163歩兵小隊に所属していました。

何枚かの旗の写真を添付します。この旗を遺族の元へ返す方法、あるいは、旗の持ち主に関する情報を教えていただけましたら幸いです。 (D.H.氏)

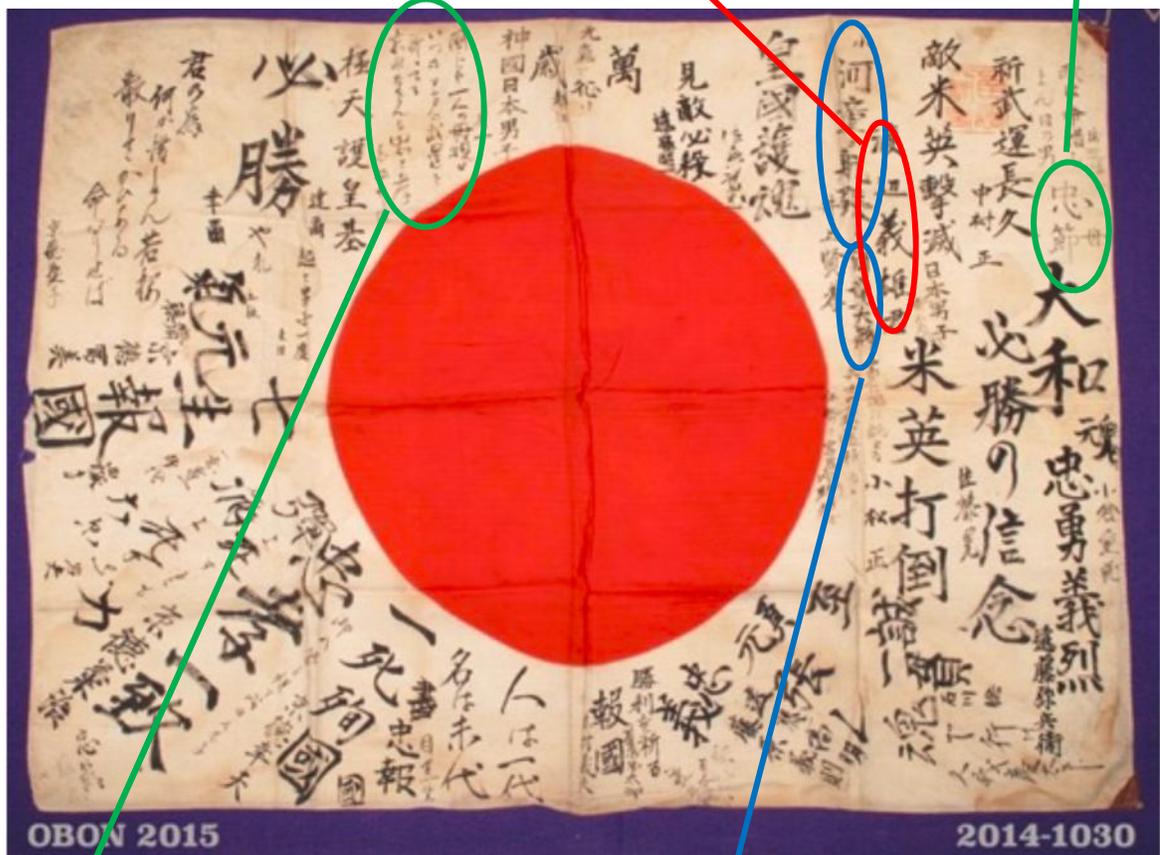
私の友人は、多くの署名がある日章旗を持っています。彼女は、旗を日本に返還したいと思っています。どうか、返還するための方法を教えていただけませんか？ (B.I.氏)

調査の一例

OBON2015 が最近受け取った日章旗は、兵士の家族、親しい友人からのメッセージが溢れていました。

この兵士の名前は、「渡辺義夫」です。

母親から出征する息子に「忠節」と書かれています。



「国じゃ一人の母親がいつもアンタの武運を祈ってる。忘れなさんな忠と孝」

訳注：その後の調査で、この日章旗は無事にご遺族の元へ返還されました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

<http://obon2015.com/id/2014-1030-return.pdf>
<http://www.obon2015.com/winter-2016-newsletter.pdf>

日本の伝承では、泳ぎが得意な「河童」と呼ばれる人間・カエル・亀を合わせたような空想上の生き物が存在します。

この日章旗には、「河童」と二箇所書かれています。この若い男のあだ名か、あるいは彼は優れた水泳選手だったのかもしれませんが。



寄付のお願い・連絡先

当団体は、皆様からの寄付により活動しています。

宛先

アメリカ在住の方 (501(C)3 を通じた税金控除の対象となります)

AVA/OBON Society
P.O. Box 282
Astoria, Oregon 97103

日本在住の方

<ゆうちょ銀行からの振込>

記号：14450 番号：16577781
名前：OBON ニセンジュウゴ

<他金融機関からの振込>

振込先銀行名：ゆうちょ銀行
店名：四四八（読み ヨンヨンハチ） 店番：448
口座番号：1657778
口座名：OBON ニセンジュウゴ

（「OBON2015」は、2015年の日章旗返還を目指した、OBON ソサエティの前身名です）

皆様から頂いた寄付金により、より多くの遺品を返還することが可能になります。

日章旗をお持ちの方、また、所有されている方をご存知の場合は、当団体までご連絡ください。日章旗・その返還方法に関して、ご質問があれば、ご遠慮なくお尋ね下さい。我々は日章旗の返還に、使命と情熱をもって、取り組んでまいります。



OBON Society

P.O. Box 282

Astoria, Oregon 97103

contact@OBON2015.com